

PORT SAPIE

ぽろとさぴえ

Vol. 18
2005.July

ぽろとさぴえ 2005.July Vol.18

特集

いま時代に示す

「函館大学の理念」

平成16年度就職実績

昨年を上回る91.7%の内定率を確保

平成18年度入試制度

函館大学へのアプローチ図解入試制度

函館歴史散歩

商都・函館の面影をめぐる

建物ウォッチング



| 1 | 年 | 間 | の | 主 | な | 日 | 程 |

- 5月 23日 AO入試(A日程) 面接申込受付開始(～10/1)
- 30日 3年次第1回就職ガイダンス
- 6月 4日 英語検定受験対策講座(第1回)
- 21日 文化講演会(講師:作家 小檜山 博氏)
- 7月 8日 交換留学生修了式
- 16日 前期授業終了
- 19日 前期授業補講開始(～7/21)
- 22日 前期末試験開始(～8/2)
- 23日 オープンキャンパス(第1回)
- 8月 3日 夏期休業開始(～9/19)
- 15日 3年次インターンシップ開始(～9/14)
- 短期語学研修(～9/13)
- 9月 4日 協学会地区懇談会(函館)
- 5日 協学会地区懇談会(札幌・青森)
- 6日 協学会地区懇談会(旭川・室蘭・仙台)
- 7日 協学会地区懇談会(東京)
- 19日 学園創立記念日
- 20日 後期授業開始
- 10月 1日 就職内定公示
- オープンキャンパス(第2回)
- 3日 AO入試(B日程) 面接申込受付開始(～12/24)
- 3年次就職活動決起大会
- 8日 英語検定受験対策講座(第2回)
- 14日 大学祭(～10/17)
- 26日 試験入試(特別奨学生選考を含む)(A日程)
- 編入学入試(A日程)
- 11月 24日 推薦入試(A日程)
- 12月 3日 就職合宿セミナー(～12/4)
- 12日 後期授業補講開始(～12/14)
- 14日 冬期休業開始(～1/10)
- 第23回函館大学海外研修旅行(～12/25)
- 就職懇談会(札幌)
- 15日 就職懇談会(東京)
- 1月 10日 AO入試(C日程) 面接申込受付開始(～3/7)
- 11日 後期授業再開
- 24日 後期授業終了
- 25日 後期末試験(～2/6)
- 31日 卒業論文提出締切(1/28～)
- 2月 1日 試験入試(特別奨学生選考を含む)(B日程)
- 社会人入試・編入学試験(B日程)
- 8日 本学主催業界研究会・就職懇談会(函館)
- 3月 1日 春季休業(～3/31)
- 10日 試験入試(特別奨学生選考を含む)(C日程)
- 推薦入試(B日程)
- 16日 第38回卒業式

函館大学 広報誌編集事務局

〒042-0955 函館市高丘町51番1号

TEL(0138)57-1181 FAX(0138)59-4575

「ほろとびえ」は、ラテン語のホルトス(港や門を意味します)とサビエンティス(知恵や英知を意味します)を参考にしてつけられた題名です。皆様のご支援と叱咤激励により、親しみやすさのなかにも、大学らしい英知の香を漂わせる誌面づくりを心がけてまいります。



表紙/元町カトリック教会と坂道(大三坂)

Contents

- 特集
 - いま時代に示す 函館大学の理念1
- FROM THE WORLD
 - イギリス短期海外留学を終えて7
- 平成十六年度就職実績
 - 昨年を上回る91.7%の内定率を確保9
- 平成十八年度入試制度
 - 函館大学へのアプローチ図解入試制度11
- 北から南から
 - 出身校紹介13
- 函館歴史散歩
 - 商都・函館の面影をめぐる 建物ウォッチング15
- 函大ing Club Topics
 - 女子全国大会出場二度目で準V 男子は地方の三位入賞17
 - 工藤・大宅組 松井・上山組 男女で全国優勝を飾る17
 - 北海道学生剣道優勝大会で 11年ぶりの優勝をつかむ18
 - 春季リーグ二位躍進 原動力のエース山隈茂樹くん18
- キャンパスレポート
 - 中国・南開大学浜海学院と姉妹提携 海外の姉妹校が九校に19
 - 函大の聴講生として八年間 三浦由利子さん英検準一級合格19
 - 函大で初のインターンシップ 十五社に二十七名が就業体験19
 - クリスマスツリーコンテスト 女子学生グループが参加20
- 平成16年度公開講座と17年度公開講座の計画 平成16年度学校法人野又学園決算書21
- 授業アラカルト
 - 「テレビドラマ制作論」荻野 慶人先生22

特集 いま時代に示す 「函館大学の理念」

「建学の精神」を具現化し 函館大学の存在意義を 高らかに示す

今年創立四十年を迎えた函館大学では、この節目に自らの存在価値とこれからのあるべき姿を確認するために、「函館大学の理念」をまとめています。この理念に込められた函館大学のあるべき姿を、小笠原学長にお話しいただきました。



学園訓を信条とした 本学の使命とこれからの姿

昨年から自己点検評価委員会を中心に「函館大学の理念」をまとめる作業が進んでいます。まず、いま

「理念」をまとめる理由はなんでしょう。 学長 創立四十年という節目の年を迎え、建学の精神と使命をいま一度確認するとともに、時代に即した新たな大学像をつくる、という両方の

理由があります。つまり、本学の変わらぬ精神や使命と、それを現代に具現化するための具体相をまとめたものが「函館大学の理念」です。 では、函館大学の建学の精神や使命とは、なんでしょう。

理由があります。つまり、本学の変わらぬ精神や使命と、それを現代に具現化するための具体相をまとめたものが「函館大学の理念」です。 では、函館大学の建学の精神や使命とは、なんでしょう。

学長 本学の建学の精神は、「学園訓三か条を具体的信条として知・情・意を高度に、かつ円満に発達させる真の学問追求をする」ことです。 学園訓三か条「報恩感謝・常識涵養・実践躬行」は、創立者・野又貞

学園訓三か条を具体的信条として 知・情・意の高度にして 円満な人格の持ち主としての 職業人を養成することを使命とする

夫先生が説いたものであり、真の学問追求をする際の具体的信条になるものです。これに基づく本学の使命は、学則第一条に「函館大学は、北海道道南の学術の中心として広く知識を授けると共に、商業および経済に関する高度の学芸を教授し、北海道開発および産業の興隆並びに文化の発展に役立つ専門的職業教育を施すことを目的とし、知・情・意の高度にして円満な人格の持ち主としての職業人を養成することを使命とする」とあります。

この建学の精神と使命は、不易なものであり、これらが形が変化し、抽象的なレベルにとどまることがないように日常の教育、研究等に生きて働くように、つまり、具現化するよう創意工夫をしたものです。これが「函館大学の理念」です。

代からどんな人材が望まれ、時代に対して本学がどのような人材を送り出すか、その人間像をつくりました。別掲のように四つの柱からできています。これらの達成に必要な素養や知識・技能などが、本学の教育課程の各科目の目標や教育内容になっていくわけですね。こう考えていくと、函館大学は何のために、何を教育するところなのかははっきりとしてくるのです。これらが、アドミッションポリシーやシラバスに具体的に表現されるのです。

の五つの専攻塾やコース、ゼミナールなどでの少人数教育と一人ひとりの能力を開発する教育システムによる高度な専門性を身につけた職業人の養成。高大連携や産学官連携などによる地域貢献。公開講座や聴講生の受け入れなど生涯学習の機会の拠点。これらの機能を充実させることにより、本学の特色をふくらませていきたいと考えています。

函館大学が育成すべき人間像

学園訓三か条「報恩感謝・常識涵養・実践躬行」を具体的信条として

- 明るく、思いやりに富む情操 (謙虚、感謝、社交性等)
- 国際感覚にも富む教養と健全な判断力
- 商学に関する専門知識 (国際感覚、判断力、応用力、創造力、ビジネス基本マナー、経営感覚、計数感覚、情報感覚等)
- 行動力に満ちた自立性 (自分で考える、知的好奇心、問題解決能力、力強い意志と勇気、実践力等) **を持つ職業人。**

独自の使命を自覚し 地域と共に歩む大学を 函館大学の理念が明確化したことで、学外へ統一したアピールができるとともに、教職員がこの使命を共有できるということですね。 学長 そのとおりです。教職員は、己が知識的にも道徳的にも、また社会的訓練においても未熟であるということを認識して、学生とともに学び、常に自己研鑽に励む。そして理念を共有してこそ、建学の精神が生きてくるんです。建学の精神が教育・研究など、大学の隅々にまで具現化することが、これからの歴史を重ねていく上で極めて重要なのです。

野又学園創立者



野又 貞夫 (1901年～1976年)

函館の私学教育、最大の功労者

明治34(1901)年生。北海道庁立函館中学(現函館中部高校)、官立小樽高等商業学校(現小樽商科大学)を卒業。函館大谷高等女学校教諭を経て、昭和14(1939)年4月、38歳で人間教育を通じて真の学問を授け、地域社会の発展に貢献する人材育成を目的に函館計理学校(現函館大学付属有斗高等学校)を設立。昭和16年に財団法人道南学院(現学校法人野又学園)に組織変更し、理事長となる。大学1校、短大1校、専門学校4校、高校2校、幼稚園1校を擁する野又学園を築き上げた。 函館市制功労者、産業教育功労者表彰。また北海道の私学振興に貢献した功績により、42年北海道知事表彰。43年藍綬褒章、48年勲三等瑞宝章、50年に函館市文化賞を授与される。昭和51年10月、75年の生涯を閉じた。

次に、個性・特色についてです。個性としては、幅広い職業人養成、社会貢献機能(地域貢献、産学官連携等)を中心にそして地域の生涯学習機会の拠点にもなるというものです。従来の教育・研究をさらに発展させ、二つの学科システムのなかで

地方の大学として独自の使命を自覚し、国際的な視野を持ち、地域と共に歩む学術の府であることに本学の存在意義があります。このことを教職員全員が認識し、建学の精神を具現化していきたいと考えています。

個性・特色がより鮮明に！ 学生・地域のニーズに答える教育を実践

英語教育を特化させた 新学科開設 専攻塾にも 二つコースを新設

創立四十年を迎えた今年度、函館大学は大きな改革を断行しました。商学部商学科の一学部一学科制を改め、あらたに英語国際ビジネス学科を開設。それに学部・学科の枠を越えた教職教育センターを加え、一学部二学科・一センター制としました。

また商学科は専攻塾を中心とする教育と、ゼミナールを中心とする教育に分け、専攻塾には、今年度から起業家養成専攻塾と福祉ビジネス専攻塾を新設しました。

この改革によって、函館大学に望まれる教育機能をより明確にし特化させるとともに、函館大学の個性・特色を鮮明に打ち出すことになりました。

二学科と教職教育センターの概要は次の通りです。

【英語国際ビジネス学科】
本学の英語教育は、中学・高校英

語の教職課程、北海道地区の英検やTOEIC試験会場、さらには北海道・東北で唯一、小学校英語指導者養成機関に認定されるなど高い評価を得てきました。この英語教育を、本学の独自性ある教育につなげていくため学科として特化させました。目的に合わせて「英語コース」「国際ビジネスコース」を設けています。

【商学科】
開学以来蓄積してきた商学教育・研究をベースに、より現実的な社会ニーズに対応させるため、五つの専攻塾を設けています。従来の会計専攻塾、IT専攻塾、ビジネス・アスリート専攻塾に加え、起業家養成専攻塾と福祉ビジネス専攻塾を新設しました。

【教職教育センター】
本学では、高校の商業・情報、中学・高校の英語の教員一種免許取得が可能です。昨年度スタートさせた教職教育センターは、所属学科を問わず、教職課程履修を希望するすべての学生に対して、教職課程の学修から、教員免許取得・教員登録試験合格までを一元的にサポートします。

【教養・専門ゼミナールを中心とする教育】
ビジネス、経済、社会のさまざまな問題に関心をもち、幅広い視野と深い洞察により各自の問題意識の下に研究を進めたい学生
【教職教育センター】
学科や専攻塾等に所属しながら、中学校、高等学校の英語教員免許や高等学校の商業、情報の教員免許の取得を希望する学生、さらに都道府県の教員登録採用試験の合格を目指す学生

アドミッションポリシー 函館大学が望む学生像

「育成するべき人間像」を具体化した学科の性格・目標を明確にしたことによって、学ぶ学生像もはっきりしてきました。本学が望む学生像（アドミッションポリシー）は次の通りです。

【英語国際ビジネス学科】 英語コース

英検準一級、TOEIC800点以上、英語教員一種免許（中学校・高校）、小学校英語指導者などの資格を取得し、職業人として働く英語力を磨きたい学生

●国際ビジネスコース

専門的な商学知識と高度な英語力を身につけ、国際ビジネスへの対応力を修得したい学生

【商学科】 ●会計専攻塾

簿記・会計・経済の学修（研究）に意欲を持って立ち向かい、自分の人生を考

●IT専攻塾

①経営の知識や情報技術を活用して、



教員の専門性を生かした教育を地域へ提供していきたいと語る田中先生の授業

社会のいろいろな場面で活躍したいという意欲のある学生

② インターネットや文献・資料から情報を収集分析し、自ら考え研究した成果を表現し、発表することに興味がある学生

●ビジネス・アスリート専攻塾

① スポーツマン・スピリットを活かしてビジネス界でリーダーとして活躍したい学生

② 販売士の資格（実践的マーケティングの学修）をとり、将来自分の店を経営したい学生

●企業家養成専攻塾

① 大学生就職ランキング上位百社以内の大企業か、資本金十億円・社員三百人以上の優良企業に就職したい学生

② 自営企業の後継者としての二世継

営者となる学生

●福祉ビジネス専攻塾

① 介護や福祉マネジメントを学び、高齢者福祉施設などの介護職員や事務職員になりたい学生

② 将来的にケアチームのリーダーになり、事業所の企画運営を担うことを目指す学生

【教養・専門ゼミナールを中心とする教育】

ビジネス、経済、社会のさまざまな問題に関心をもち、幅広い視野と深い洞察により各自の問題意識の下に研究を進めたい学生

【教職教育センター】

学科や専攻塾等に所属しながら、中学校、高等学校の英語教員免許や高等学校の商業、情報の教員免許の取得を希望する学生、さらに都道府県の教員登録採用試験の合格を目指す学生

教育内容・成果を公開 社会に開かれた大学づくりを

これまで述べたような本学の新たな試み、そして函館大学で実際にどのような教育が行われているのか、それらを自らが積極的に発信し、社会へアピールしていくことが、本学への理解を生み、評価へとつながっていきます。

従来から地域の生涯学習の機会として公開講座を開催してきましたが、その一環として行っている英検受験対策講座は、本学の英語教育を地域



教員だけのにとどまらず、学生にも発表の機会を設けています。学習成果を学外へ発表することで、本学の教育内容への理解や、また学生本人の自己検証につながると考えます。昨年、初めて行った「専攻塾学生発表会」、毎年開催している「弁論大会」は、広く一般公開で行っています。

に還元しているものです。英語担当教員の田中弘樹先生は「僕は発音などの音声学が専門ですが、読み書きの英文学専門の教員など、各自の専門性を活かし、学生や地域の人々に質の高い英語教育を提供していきたい」と話しています。

その他、本学教員が中心となった「函館まちづくりフォーラム委員会」や、学内で主体的に進める「まちづくり、まちおこし」を考え、進める会などが始動しています。本学の持つ経営、マーケティング等の専門性を地域経済の実践の中で確かめながら、教員の研究活動を高め、その成果を地

域へと還元することが目的です。教員だけにとどまらず、学生にも発表の機会を設けています。学習成果を学外へ発表することで、本学の教育内容への理解や、また学生本人の自己検証につながると考えます。昨年、初めて行った「専攻塾学生発表会」、毎年開催している「弁論大会」は、広く一般公開で行っています。

地域の中で本学の存在価値を確立するために、「まず地域の人たちに親近感を持っていただき、そこから教育に対するあつい信頼感を築いていく」（小笠原学長）考えです。



本学と連携協定を結んだ知内高校

昨年から本格的に動き出した高大連携。これは「函館大学の理念」にも盛り込まれている、社会貢献機能の具体的実践の一例です。当初、函館商業高校、函館西高校そして付属高校である函大有斗高校、函大柏校高校の四つの高校と英語や商業科

**知内高校とも協定を結び
連携高校が五校に**

目・教育心理などで高大連携を実施してきました。

昨年十一月に、新たに知内高校と協定を結び協定高校が五校になりました。また函館市以外では初の連携高校となりました。両校の連携教育の内容は、本学教員による英語実務検定対策講座の他、海外留学への助言、就職・職業感を育てる講義の実施、教職員を対象とした研修などを盛り込んでいます。さらに今後は、生徒が本学で科目履修することで単位が取得できる仕組みづくりを検討していく予定です。

**高校側は生徒の大学進学
意欲の向上にも期待**

知内高校と協定を結ぶことになったきっかけは、昨年十月に本学教員が知内高校に出向き、英検指導講座を実施したことです。以前より資格取得指導に熱心な知内高校では、校内で英検受験対策も行っていました。函館大学から大学レベルの英語



英検2級に合格した知内高校・斉藤くん

指導を受けることで、英検の合格実績だけでなく、大学進学への意欲を高めるものと期待しています。知内高校では、毎回十五名ほどが英検を受験し、準二級合格者を出すなどしています。その中で、昨年同校の斉藤良輔くん(二年)が英検二級に合格しました。函大の出前授業を受講した斉藤くんは、「函館大学は英検の試験会場なので親しみもあるし、もし函館大学の授業が受けられるならぜひ受けてみたい」と、本学との連携に期待をふくらませています。

そのほか、森高校・福島商業高校など高校単位で見学に訪れることが増え、道南地方で唯一の私立四年制大学として、道南の高校から本学への期待がますます高まっています。

**進む、高大連携！
道南地区唯一の私立四年制大学として
地元高校生の進学の受け皿に**



高大連携の一環として行われている出前授業



学校単位で本学へ見学に訪れる高校が増えている

「専攻塾学生発表会」開催

学修成果・就職活動の体験を発表

専攻塾が設置され4年目となった昨年度は、専攻塾制になって初の卒業生を送り出しました。専攻塾第1期生にあたる学生11人が、資格取得などの学習成果や就職活動について、4年間の大学生活のまとめを発表しました。ここでは、現在、岩手県盛岡商業高校で教職に就いた吉田祐幸さん(情報・商業教職専攻塾)と、JR北海道に入社した駄賃場将洋さん(ビジネス・アスリート専攻塾)の発表の一部を紹介します。

**教員免許取得！
岩手県盛岡商業高校で勤務**



吉田 祐幸
(岩手・盛岡商業高等学校出身)
情報・商業教職専攻塾

函館大学では、教職塾以外でも教員免許の取得は可能ですが、この塾に入ることによって、余分な単位の授業を履修することなく教員免許の取得が可能になるため、大学の4年間で普通科情報と商業科の2つの教員免許を無理なく取得することができました。これは、塾の必修科目になっている授業に教員採用試験科目の教職教養にあたる授業の単位が多く含まれているため、残りの卒業に必要な単位を履習していくなかで専門科目のための授業を履修することが容易になり、結果として2科目の教員免許を取得することができました。

教員免許取得をめざす学生に求められるのは、個々に合った学習計画を立て、それを実行することだと思います。教職塾では、必修科目で教職共通の単位を、そして選択科目で専門科目のために必要な単位を選択することによって、計画的に学習を進めることができました。

教員免許を取得し、教員採用試験を受験するまでには、たくさんの課題がありました。「先生になりたい」という、しっかりとした目標を持っていたことが、良かったと思います。この目標があったからこそ、普段の大学での授業を一生懸命取り組み、採用試験までの学習期間は短かったのですが、集中して勉強できました。

岩手県の教員採用試験では、1次試験から筆記試験と小論文、集団討議、適性検査が行われ、2次試験では、個人面接と模擬授業を含む集団面接、適性検査が行われました。私の本格的な試験対策は、4年生の4月から始まったのですが、採用試験では、大学の授業以上に深い内容を問われることもあったので、毎週水曜日の朝から、小笠原学長先生による採用試験の対策講座に参加し、教育時事問題や法規、指導要領の改訂内容について解説していただきました。また、採用試験で課せられる小論文では、ポイントとなる部分のアドバイスをいただき、大変よい試験対策となりました。さらに、教職センターでは、週に1回午後、教職をめざす学生同士が集まって、勉強会を行いました。これも一つの励みになったと思います。

その他、直前の対策としては、県の情報公開センターから過去3年分の採用試験の問題を取り寄せ解答してみたり、インターネットや新聞などから、岩手県の教育関連の記事を探し、自分なりに考えをまとめておいたりもしました。また、教育実習先の先生から最近の採用試験の傾向や教育時事問題などについてのアドバイスもいただきました。

最後に今後教員をめざす学生のみなさんは今、日々の授業や生活に追われ大変だと思っている方も多くいると思います。しかし、その日々の授業や生活の1つ1つを集中し、実のあるものにしていけば、結果は自ずとついてくると思います、がんばって下さい。

**一点集中型就職活動で
JR北海道入社**



駄賃場 将洋
(青森・大湊高等学校)
ビジネス・アスリート専攻塾

私は、高校では3年間ボート部に所属し、本格的にスポーツに携わってきたという事で、ひと味違った商業を学んでみたいと思い、ビジネス・アスリート塾を選挙いたしました。

ビジネス・アスリート塾を一言で言うと、スポーツマンスピリットを生かし、ビジネス界で、リーダーとして活躍する人材を育成する塾なのです。1からスタートするため、スポーツ経験の有無は関係ありません。また、マネージャー経験者の方にもおすすめで、幅広い知識を得る事ができるとおもいます。

私は、子供の頃から鉄道の運転士に憧れてきました。第1志望がJR北海道だったため、北海道の大学を選び、函館大学へ入学してきました。JR北海道の採用枠はとても狭く、試験も厳しいため、合格できる可能性は極めて低い状態でした。ほとんど毎日、ダメだったらどうするか、他を探すべきなのか、と大いに悩んだのも事実でしたが、そのたびに何のために北海道へ来たのか、何のために函館大学に来たのか、と自分に問い詰めました。親から出してもらっている大学の費用を絶対に無駄にしない、と絶対に鉄道の運転士になるぞと決心し、3年生の秋に本格的にエントリーも始まりました。

すでに目標がはっきりしているため、一般的な数10社も受験するような就職活動は行わず、一点集中型・ピンポイントの1社狙いで就職活動を行ってきました。自分の気持ちを貫く事ができたため、1月から7月までの間、一気に集中することができ、JR北海道(運転士募集)に合格する事ができました。

就職活動での半年間は、妥協は一切ありませんでした。アスリートとして自分の実力を発揮できる環境を、しっかりと整えられていたため、勢いにも乗る事ができ、逆に就職活動は楽しかったと感じています。それだけやりがいがあり、充実していたということです。スポーツで得られた精神力・根性は、就職活動をはじめ、大舞台でしっかりと生かされたと思います。

卒業論文も、入社前の勉強をかねてJR北海道についてまとめました。JRの発足から現在までの18年間の動きを調べ、経営学・交通論風にアレンジし、北海道新幹線など、将来像も含めてまとめ上げました。1、2年生でわからなかった経営の話が、4年生になってようやく理解できました。

大事なことは、状況に応じて100%を出せるかどうか、あきらめずに、最後に結果を出せるかどうかかなのです。ビジネス・アスリート塾は、そのヒントを与えてくれる場でもありました。

これからは、1分1秒の重さを感じて生きていく事になりますが、チャレンジスピリットを忘れずに、大切にしていきたいとおもいます。



イギリス短期海外留学を終えて

海外姉妹校との交換留学生を十年以上にわたって派遣している函館大学ですが、昨年新たに短期留学を実施しました。八月十五日から九月十三日の約一カ月間、六名の学生がイギリスのウォルバー・ハンプトン大学で語学学習を行いました。

できるだけ多くの学生に 海外留学のチャンス

本学では、できるだけ多くの学生に海外留学のチャンスを与えようと、学生一人当たり三十万円のスカラシップを援助し、六名の学生を送り出しました。

留学の最大の目的は語学研修ではありませんが、短期間ですと学ぶというより、今の自分の英語力を確認する意味合いが強いと思います。私としては、英語はコミュニケーションのツールであるという認識を、まず感じてほしいかったですね。ホームステイ先や大学の教室で、さまざまな国の人たちとふれあうことで、いかに自分の考えを相手に伝えるかが大事で、言葉はそのためのツールであるということです。日本人は議論することに不慣れと言われていますが、世界の中では非常に不利になりません。そうした世界の認識と、自分たちが普段持っている認識の違いを、実感したことが、学生たちの今後に大きく役立つと信じます。



国際交流部長
教授 高橋 真
いる認識の違いを実感したことが、学生たちの今後に大きく役立つと信じます。

イギリス短期留学を体験して



木村 幹 (2年)
(函大有斗高校出身)

僕の今回の留学の目的は、英会話の力を試してみること、きれいな発音を実際の耳で学んでみたかったからです。最初の週間は、ほとんど話を聞き取れなかったのですが、二週間目くらいから慣れてきて話ができるようになりました。同じ教室に韓国からの留学生もいて、韓国では英語教育にとても力を入れていることがわかりました。

勉強の他には、毎週休日にはロンドンやマンチェスターに行って、生活の中でイギリスの文化を知ることができ、素晴らしい体験になったと感謝しています。

短期留学から戻ってからは、函大の外国人の先生と積極的に話すようにして、英語の感覚を忘れないように努力しています。また現在英検二級ですが、在学中には準一級取得をめざします。



英検準一級をめざしてがんばります。

海外留学は入学時からの希望、というよりむしろ海外留学をめざして函大に入学しました。今回の短期留学も、いずれ行きたいと思っている一年間の長期留学のよい準備になればいいなと思います。

自分の英会話力を試してみたかったのですが、正直ほとんどダメでした。ただ、それで今の力がわかったので、リスニング力と単語力をつけたいと思っています。そのため、海外のニュース番組を見ようとしています。

またイギリスの大学では、同じ語学教室になったいろんな国の人たちと話ができ、とても刺激になりました。同年代なのに、将来の目標をしっかりと持って勉強しているなど感じました。私も身近な目標としては英検準一級をめざしてがんばります。



林 良美 (2年)
(函館遺愛女子高校出身)



留 学 生 紹 介



グレゴリー・ターナー
(オーストラリア・ニューカッスル大学三年)

函館大学では、外国人の先生がとても親切にしてくれ、私の相談役になってくれています。学生ともっと話すようにして、お互いに語学の勉強をしたいと思っています。

でも、名古屋と違って函館には冬の楽しみがありますね。スノーボードを初めてやって、冬が好きになりました。

函館には冬の楽しみがありますね
函館大学では、今年度も海外姉妹校から二人の留学生を迎えました。昨年九月からの一年間、本学で日本語を中心に勉強をしています。



イシカワ・ライアン・タダシ
(ハワイ・バシフィック大学三年)

函館の街の歴史文化に興味があります
私は日系四世ですが、家では日本語を耳にすることもありませんでした。日本語の勉強は大学に入学してからで、まだまだ上手に話せません。函館大学では、日本語の会話、漢字、作文を勉強しています。日本語を学ぶにつれ、日本の文化にも興味が出てきて、その点では函館の街の歴史文化にも興味がありますね。

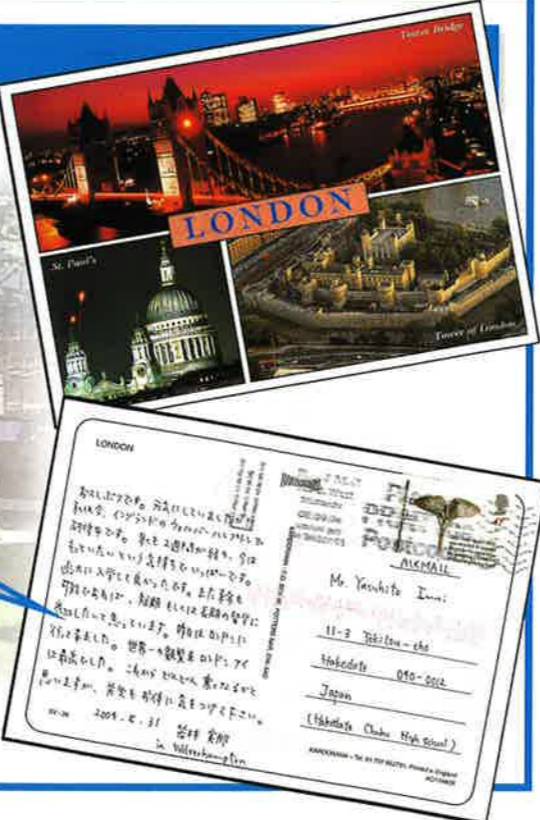
函館での生活は、楽しいですよ。初めて親元から離れたのですが、ホームステイ先はグレゴリーと一緒に過ごし、家族の方たちとも楽しくやっています。函館大学は、いろんな施設が充実していますね。コンピュータ室や図書館をよく利用していますし、トレーニングルームでは筋トレをやって気分をリフレッシュしています。

イギリスからの手紙

ウォルバー・ハンプトン大学への短期留学した若林実那さん(二年・函館中部高校出身)が、イギリス滞在中に母校・函館中部高校の恩師・今井先生宛て絵はがきを送りました。今井先生がこの便りに感激し、本学へ知らせてくださいました。

お久しぶりです。元気にはしていましたか? 私は今、イングランドのウォルバー・ハンプトン大学で研修中です。早くも2週間が経ち、今はずっといたいという気持ちでいっぱいです。函大に入学して良かったです。また来年も可能であれば、短期もしくは長期の留学に参加したいと思っています。昨日はロンドンに行ってきました。世界一の観光車ロンドンアイは最高でした。これからどんどん寒くなるかと思いますが、先生もお体に気をつけて下さい。

2004.8.31 若林 実那 in Wolverhampton



昨年を上回る九一・七%の内定率を確保

平成十六年度就職実績がまとまりました。内定率は、昨年度を上回る九一・七%で、「就職に強い函大」を堅持しました。特徴としては、IT関連企業、医療福祉関連企業が伸び、就職分野の多様化を示す結果となりました。

早期からの職業意識養成と就職教育に力点を

就職環境はやや改善の方向に向かっているものの、各企業は人材の質重視を求めており、引き続き厳しい状況に置かれています。このような状況の中で十六年度就職内定率は前年度を若干上回る九一・七%（三月三十一日現在）になりました。業種別では従来本学の学生にとって主要な部分を占めていた卸売・小売、サービス業への就職が減少し、その他の業種が増加しました。資本金や従業員別でも中堅企業への就職が減少し、全体的



就職部長 教授 溝田 春夫



業界研究会は函館大学が独自に開催する合同企業説明会

に多様化しているのが十六年度の特徴といえます。今後の就職先としては流通・小売業、サービス業などとともにIT関連企業、福祉関連企業など学生や社会のニーズに合わせた企業開拓を行っていく予定です。

十六年度から本格的に取り組み始めたインターンシップ事業は市内の多くの企業の協力で実施することができ、二十七名の学生が参加しました。受け入れ企業、インターンシップ参加学生の双方とも好評であり、大きな成果を得ることができました。引き続き十七年度についても充実していく予定です。

就職部ではインターネットを活用した学生への情報提供を積極的に進めています。企業訪問等で収集した情報をすぐにホームページに掲載して、学生が学外からでも就職部が持つ最新の就職情報をいつでも容易に入手できるようにしています。さらに、就職ガイダンス

（六月～一月）を始め公務員受験対策講座（八月）、就職インターネット講座（十月）、就職合宿セミナー（十二月）、札幌・東京での就職懇談会（十二月）、教員採用試験対策講座（八月・九月・十一月）、約七十社が参加する本学主催の業界研究会（二月）など様々な就

職支援を行っています。昨今フリーターやニートの増加が社会問題となっており、政府もこの問題に取り組む始めています。やりたい仕事が見つけられなかったり、就職したくない学生が増えていることを考えれば、早い時期から職業に対する意識をしっかりと

り持つことが大切です。そのためにも、単に就職支援のみ止まることなく、早い時期からの職業教育が必要です。一年次から職業観を養い、適職探しを支援するため、キャリア教育の充実を目指し、キャリア開発センターの設置に向け検討中です。

今春社会へ巣立った卒業生

医療法人 函館渡辺病院勤務 小山田 恵さん（函大付属柏稜高校出身）

自問自答で新たな発見が!?



「大学生活で、どれだけのことを学んできたのか」「自分の信条は？」などと自身に問いかけ、答えが見つかるかどうか。このような問いかけに答えが出せたら、面接時の自己アピールには困らないと思います。ただし、この問いかけは就職活動中に限らず常に頭の隅におき、更には「今のやり方であるのか？」と考えを深く掘り下げることも必要になると思います。

後輩のみなさんにとって、就職ガイダンス、合宿セミナー、インターンシップなどで「自分はどのような職種に向いているのか」と考える機会がたくさんあります。固定観念にとらわれず、大きな視野をもち、常に自問自答をしながら、悔いのない就職活動をしてほしいと思います。

株式会社 ツルハドラッグ入社 藤原 圭介さん（函大付属有斗高校出身）

自分がやりたい仕事は何!?



私は就職活動をするにあたって、まず第一に考えたことは「自分がやりたい仕事は何か？」ということでした。大学生の時は色々アルバイトをしてきましたが、その中で一番楽しかったのが接客業だったのです。

接客業といっても色々ありますが、その中でなぜツルハドラッグを選んだかということ、風邪やケガなど、病気で苦しんでいる人たちに薬を販売し、治す手助けをすることが出来るからです。

実際入社して働いてみると本当に大変ですが、先輩社員の方々に助けていただき頑張ることができています。

これからは店長を目指し、商品知識を沢山身に付け、一生懸命働きたいと思っています。

社会に旅立つ皆様へ



スターゼン株式会社 企画管理本部 総務人事部 人事室 室長 伊藤 洋孝さん 第20回生 1988年3月卒（ハンドボール部所属）

当社は、食肉卸の分野ではトップクラスの会社でスーパーや外食産業に対し、新鮮で安全な食肉や食肉加工品を安定供給しております。人事室の仕事というと、すぐ「採用活動」をイメージされる方が多いと思いますが、社員の昇給・昇格や人事制度の見直しなど入社から退職までの一切を担当しており、目が回るほどの忙しい毎日を過ごしています。残念ながら今は余暇のことなど考える暇もありません。

しかし、充実感があります。それは仕事を任せてくれる会社や私を応援してくれる先輩方をはじめとする仲間の期待に応えたいという気持ちがあるからだと思っています。

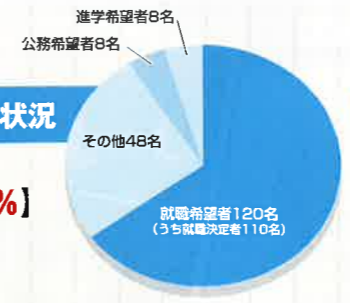
最近ではフリーターやニートなど若年層の就業意識の変化が社会問題となっておりますが、仕事はお金を稼ぐためだけにあるものではありません。会社の上司や得意先に信頼され、仕事で成果を上げたときの充実感を皆さんにも早く味わってほしいと思います。



入社時の司会を勤めた伊藤さん

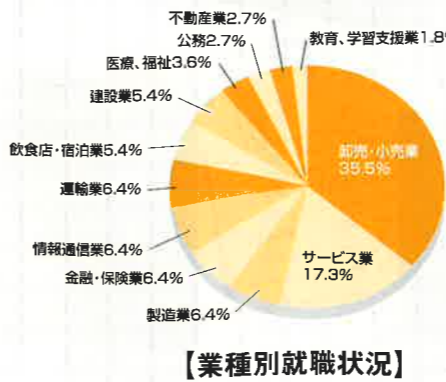
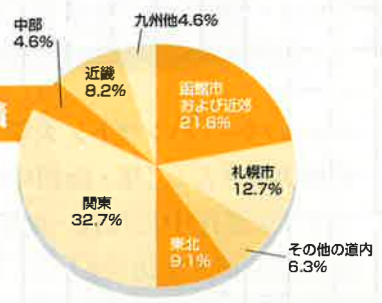
平成16年度 進路状況

【就職決定率 91.7%】

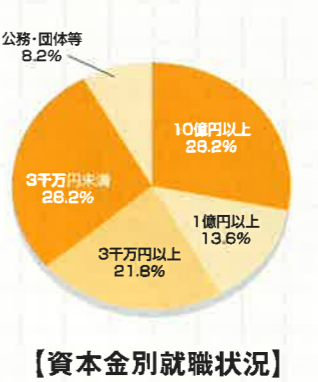


平成16年度 就職実績

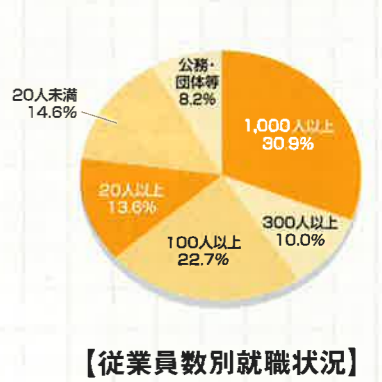
【地域別就職状況】



【業種別就職状況】



【資本金別就職状況】



【従業員数別就職状況】

函館大学へのアプローチ

図解

入試制度

アプローチはいろいろ 多様な入試制度を用意

函館大学では、学びたいという意欲を持った若者に、広く入学の機会を与えるために多様な入試制度を用意しています。
 高校生の受験においては、基本的に推薦入試、AO入試、試験入試の三つがあります。それぞれの特長を見てみましょう。また、編入学試験、社会人入試もあります。

函館大学

試験入試

学科試験は、6科目から2科目を選択しますので、商業科の生徒も受験しやすくなっています。また、得点によっては特別奨学生としての特典を付与します。

AO入試

面談を重ねながら、本学の教育内容と本人の希望をすりあわせ、十分に納得したうえで入学してもらうことを目的とした制度です。日程を3期に分け、受験のチャンスを広げています。

推薦入試

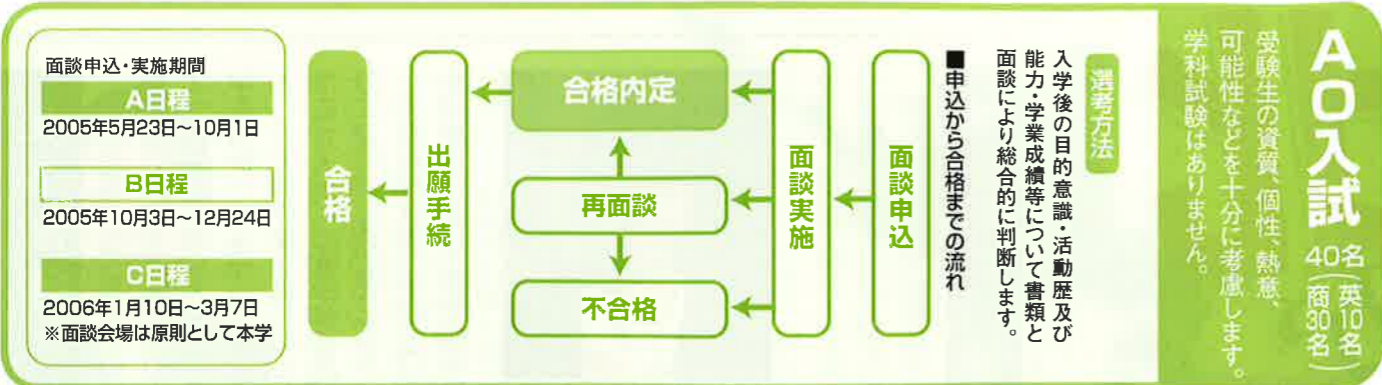
指定校推薦、一般推薦の他に、商業科などの専門学科や総合学科の推薦枠も設けています。

推薦入試

(学科試験免除)
 調査書および面接の結果を総合して可否を判定します。

一般推薦入試 20名(英5名・商15名)	専門学科・総合学科推薦入試 10名(英3名・商7名)	指定校推薦入試 50名(英10名・商40名)
選考方法 ・高等学校等の学校長推薦書及び調査書 ・面接 条件 ・調査書評定平均値3.0以上 ・現役または1浪まで 特典 ・授業料のうち年額40万円給費(4年間) (但し、調査書全体評定平均値4.0以上で、かつ専門学科出身者は専門教科の評定平均値4.0以上)	選考方法 ・高等学校等の学校長推薦書及び調査書 ・面接 条件 ・調査書評定平均値3.0以上 (課外活動等業績評価制度適用者は2.7以上) ・現役または1浪まで 特典 ・入学検定料3万5千円免除 ・授業料のうち年額40万円給費(4年間) (但し、調査書全体評定平均値4.0以上)	選考方法 ・本学が指定する高等学校等の学校長推薦書及び調査書 ・面接 条件 ・調査書評定平均値3.0以上 (課外活動等業績評価制度適用者は2.7以上) ・現役または1浪まで 特典 ・入学検定料3万5千円免除
日程 出願期間 2005年11月1日~17日 試験日 2005年11月24日 合格発表 2005年12月2日 試験地 本学、札幌、青森、仙台、東京	日程 出願期間 2006年2月20日~3月7日 試験日 2006年3月10日 合格発表 2006年3月16日 試験地 本学	日程 出願期間 2006年2月20日~3月7日 試験日 2006年3月10日 合格発表 2006年3月16日 試験地 本学

※英=英語国際ビジネス学科 商=商学科



社会人入試

(5名・英2名・商3名)

選考方法
 ・志望理由書・調査書(または出願資格を証明するもの)
 ・健康診断書・面接

日程
 出願期間 2006年1月10日~25日
 試験日 2006年2月1日
 合格発表 2006年2月6日
 試験地 本学

編入学試験

(若干名・英への編入学は2年次のみ)

選考方法
 ・小論文・健康診断書・面接

条件
 ・3年次編入の場合60単位以上
 ・2年次編入の場合30単位以上
 ※他の4年制大学に1年以上在学したもの
 ・短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程卒業生は3年次編入

日程
 <A日程>
 出願期間 2005年10月7日~21日
 試験日 2005年10月26日
 合格発表 2005年11月4日
 試験地 本学
 <B日程>
 出願期間 2006年1月10日~25日
 試験日 2006年2月1日
 合格発表 2006年2月6日
 試験地 本学

試験入試

75名(英20名・商55名)

学科試験は6科目から2科目選択。特別奨学生(25名)の選考も行います。

選考方法
 ・学科試験(2科目選択)
 国語(国語総合<古文・漢文除く>・現代文)
 英語(英語I・II、リーディング、ライティング)
 日本史B
 世界史B
 政治・経済
 簿記
 ・調査書
 ・健康診断書(1浪までは不要)

特別奨学生選考
 特別奨学生の希望者は、特別奨学生申請書を提出。学科試験終了後に面接あり。

特典区分

特別奨学生1種	入学金全額及び授業料全額給費(4年間の給費額総計463万円) (初年度15万円+112万円=127万円)
特別奨学生2種	入学金全額及び授業料半額給費(4年間の給費額総計239万円) (初年度15万円+58万円=71万円)
特別奨学生3種	入学金全額給費 15万円(入学時) <希望者貸与> 50万円×4年間 ※貸与分のみ返済義務あり
特別奨学生4種	入学金全額給費 15万円(入学時) <希望者貸与> 30万円×4年間 ※貸与分のみ返済義務あり

※平成17年度入学生実績

2005 函館大学 オープンキャンパス

第1回 7/23(土) 12:45~15:45 申込締切日/平成17年7月16日(土)

第2回 10/1(土) 12:45~15:45 申込締切日/平成17年9月24日(土)

オープンキャンパスの内容

- 大学の概要、入試要項説明
- キャンパスツアー
大学内の施設・設備を見学し、ご自身の大学生活をイメージしていただきます。
- ミニ講義
実際に大学で行われている講義の短縮版を体験していただきます。
- 個別相談
入試、各学科・各専攻、学生生活、就職などの疑問・質問がありましたら、お気軽にご相談ください。
- 学生宿舎見学
ご希望の方のみ参加。事前にお申し出ください。
- 資料・記念品配布

■函館市外からの参加者は函館市までの交通費を本人分に限り3万円を上限に補助いたします。(当日印鑑を持参してください)
 ■無料送迎バス運行(函館駅前~函館大学) ■参加希望の方は、電話かE-mailまたは相談会場までお申し込みください。
 ■申込・問合せは函館大学入試課 ☎0120-00-1172 または E-mail nyushi@hakodate-u.ac.jp

積極的な情報発信で "選ばれる大学"をめざします。

少子化がますます加速する中で、私立大学は"選ばれる大学"とならなければなりません。

そのために、本学では情報発信を積極的に行い、教育内容や各方面の実績を広く知ってもらう努力を進めています。本学の活動が新聞記事等でも数多く取り上げられ、それによって地元からの入学者の比率が高まっています。これは、商学と英語教育において十分に期待に応えられる体制が理解されてきた結果でもあります。今年度には新設した英語国際ビジネス学科には、函大で英語を学びたいと、はっきりとした意思表示をする学生が入学してくれました。

さらに、オープンキャンパスや全国各地で開催する進学相談会では、入試課スタッフは細やかな対応を心がけています。そして、入学後の学生の満足度をさらに高めていくよう努力しています。

最近では企業の新卒採用状況も回復し、商業・経済系学部の人気が高まってきていますが、本学では今後も商学と英語教育の内容を充実させるとともに、その成果を広く学外へ発信し、本学の魅力や社会的評価を高めていきたいと考えています。

入試部長・助教授 松 喜美夫

北海道高等学校

私の母校、北海道高等学校は普通科の高校で特別進学コース(主として国立大学への進学を目的)と、進学コース(主として北海学園をはじめとした私立大学への進学を目的)の二つのコースがあります。

北海道は百二十年という長い歴史があり、百十四年目



渡邊 裕美さん(4年)

には、男子校から男女共学となり、私は共学期生になりました。校訓は男子校時代から「質実剛健、百折不撓」として、明瞭、快活で「口を飾らず、誠意をもつて物事に当たり、困難に出あってもくじけぬ意志で自分を鍛え、社会に貢献する有為な人材の育成を目指し

ています。この精神は今も私を支えてくれる、大切な事です。部活動においても、硬式野球部やアイスホッケー、空手など体育会系も有名ですが、弁論部や美術部、写真部といった文化系も有名です。貴重な高校生活三年間を北海道で過ごし、仲間や恩師に出会えた事を誇りに思います。

百二十年の歴史を誇る、北海道の私学の雄



明治18年、北海英語学校に始まる北海道の歴史は、開国間もない日本がめざした自由と近代化の精神が根底にあります。建学以来の基本精神は「百折不撓」(どんな困難に出会ってもくじけず強い意志で目標に向かって行くこと)で、120年の歴史で3万3000人を超える卒業生を輩出し、政財界をはじめスポーツの分野でも数多くの著名人を輩出しています。平成11年から男女共学となり、特別進学コース、進学コースの2コース制で年々進学実績も上げています。

北海道高等学校 創立:明治18年
札幌市豊平区旭町4丁目1番41号
TEL (011) 841-1161 FAX (011) 824-5519

北海道函館商業高等学校

私の母校、函館商業高校は明治十九年の創立で平成十八年には創立百二十年を迎える北海道内の公立高校では最古、全国でも七番目に歴史のある高校です。現在、学科は全日課程に国際経済科・情報処理科・流通ビジネス科、定時制課程に事務情報科があります。建学精神「土魂商才」のもと、商業を中心に学んでおり、簿記検定や情報処理検定など検定資格に力を入れています。そのため函館商業高校と函館大学は「高大連携」を結んでおり、検定対策授業などを行っています。教育面だけでは

なく、課外活動では昨年の大学祭では函館商業高校の生徒会と一緒に縁日を企画するなど多くの連携を図っています。この高校で得たものは大学で役に立っています。高校での出会いを大切に、そしてこれから先の出会いも大切にしたいと思っています。



重山 喜重くん(2年)

明治十九年開校の北海道最古の公立学校



明治の開国とともに、当時五大港として繁栄した函館に設立され、平成18年には120年の歴史を数える北海道最古の公立学校です。全日課程では、国際経済科、情報処理科、流通ビジネス科の3学科を設置し、社会の国際化・情報化・サービス化に対応した教育実践を展開しています。卒業生の進路は約6割が就職をし、約4割が大学・短期大学・専門学校へと進学をしています。地域の専門高等学校として、若い人材を送り出している活力ある学校です。

北海道函館商業高等学校 創立:明治19年
函館市昭和1丁目17番1号
TEL (0138) 41-4248 FAX (0138) 41-4249

北から南から

出身校紹介

新潟県立西新発田高等学校

新潟県立西新発田高等学校は普通科、学年三百人程の学校です。創立当初は女子高校であったながらも、現在も女子学生の割合が多く、私の高校時代ではクラス、三十六名中、男子六名、女子三十名というクラスもありました。

私は高校一年生の時に少林寺拳法部に入部し、今現在も函館大学の少林寺拳法部に所属し、活動しておりますが、私と函館大学の出会いも、少林寺拳法が関わっていました。高校の先生に、少林寺拳法部の先輩が函館大学にいるという

ことがきっかけで、学校説明会に参加し、少人数でキメ細かく学習できる環境にとても興味を持ち、進学することを決めました。大学では勉強、部活動、ともに充実した日々を送ることができました。高校時代に学んだ、自ら考え行動することをこれからも生かしていきたいと思っています。

女学校の伝統を受け継ぐ公立高校



新発田高等学校として設立し、100年を超える歴史を持つ公立高校。教育目標に自主実行、寛容礼節、合理創造を掲げ、全日制・定時制を設け地域の中心的な教育機関となっています。「あやめ城」とも呼ばれる新発田城の近くに位置し、女学校だった伝統から、現在も女子学生が多いのが特徴です。部活動は女子が全国優勝の実績を持つ弓道部と、毎年全国大会に出場している少林寺拳法部が、伝統的な強さを誇っています。全日制では、毎年7割強が進学しています。

新潟県立西新発田高等学校 創立:明治36年
新潟県新発田市西園町3丁目1番2号
TEL (0254) 22-2009 FAX (0254) 26-8464

青森県立青森商業高等学校

私の母校、青森商業高校は、商業科、会計科、情報処理科の三つの学科があります。資格取得に向けて、授業だけでなく、放課後講習もしています。また、実際企業に行き、仕事を体験するという職場体験があります。これは、就職に向けての心構え、働くという事について考える目的があります。

また、文化祭は他校と違い、企業の人の手も借り、野菜、味噌、布団などを販売します。販売する難しさや楽しさがあり、地域の人の交流も深まります。部活動は、運動部、文化部とどちらにも力を入れています。



長牛 聡美さん(2年)

最近ではハンドボール、吹奏楽が賞を取るなど、良い成績を収めています。他の部活も遅くまで生懸命練習しています。私は、高校で色々な事を学びました。これを大学でも役立てたいと思います。勉強だけでなく、友人とも仲良く、これからも楽しい大学生活を送りたいです。

県内で「青商」と親しまれる伝統校



明治38年創立で、今年100周年を迎えました。校訓は「進取明朗・和衷協同・節度謙讓」。青商の名で親しまれ、2万7000余名の卒業生が地域経済界をはじめ各方面で活躍しています。学科は商業科と会計科・情報処理科の3つで、時代に即した教育と資格取得指導に力を入れた教育を行っています。また、市内デパートや事業所でのインターンシップ、青商祭バザーなどユニークな体験学習を行っています。

青森県立青森商業高等学校 創立:明治38年
青森市東造道1丁目6番1号
TEL (017) 736-6116 FAX (017) 736-5188



松井 葵美子さん(4年)

西新発田高校は生徒が「丸」となっており、生徒が主体となって行事を盛り上げていく学校です。その中で私も、自分自身で考え、それを行動に移していく力を身に付けることができたと思

クラブ活動も盛んな函大では、 たくさんさんのクラブが活躍しています。

函大を元気にしてくれる、元気なクラブの話題をお届けします。

ボウリング部

女子全国大会出場二度目で準V 男子は地力の三位入賞

全国トップレベルで活躍する函大のボウリング部。昨年の第四十二回全日本大学ボウリング選手権大会で、女子が準優勝、男子が第三位の成績を収めました。出場大学は、男子二九校、女子十三校でした。

過去に二度準優勝に輝いたことのある男子部は、予選前半で思うようにスコアを伸ばせず苦戦しましたが、それでも後半盛り返し三位に食い込み、地力のあるところを見せつけました。女子部は、初出場だった一昨年の大会でいきなり三位、そして二度目の出場となった昨々が準優勝と着実に成績がアップ。その原動

力となったのが、二年生トリオ（大会出場時は一年生）の菊池愛さん（札幌・北海道出身）、佐藤まさみさん（山梨県・桂高校出身）、古堅（ふるげん）葉月さん（沖縄県・前原高校出身）です。三人とも小学生からボウリングを始め、高校時代は全国レベルの大会出場経験を持っていきます。大会中も、ゲームを重ねることにスコアが上がったというだけあって、まだまだ技術的にも精神的にも伸び盛りの三人。今年もこのメンバーで戦えること、目標は「目標は優勝あるのみ」と口を揃えます。

三人はクラブを離れても



左から古堅さん、菊池さん、佐藤さん

大の仲良しで、佐藤さんと古堅さんはアパートも同じ。菊池さんのアパートも近く、よく三人でお互いの部屋に集まり、食事をしたりビデオを見たりしているそう。そんな仲良しですが、ボウリングではお互いに負けまいとライバル心を燃やしています。

少林寺拳法部

工藤・大宅組 松井・上山組 男女で全国優勝を飾る

昨年十一月愛知県で行われた「二〇〇四少林寺拳法全国大会」において、「組み演舞」で男女二組が揃って優勝を果たしました。

男子は工藤裕治くん（二年）と大宅和彦くん（二年）が、一般男子二段の部で優勝。二人はともに青森県五所川原第一高校出身ですが、高校時代は組んだことはなかったそうです。組み演舞の場合、身長が同じくらいの相手と組むのがよいとされますが、工藤くんは大宅くんは10cm以上の差があります。それでも「その差が感じないくらいやりやすい相手」と工藤くんは言います。現在二人は三段に昇段し、「今年も三段以上の部でも優勝を目指したい」としています。

女子は、松井美生子さん（四年・新潟県西新発田高校出身）と上山清見さん（二年・大阪府大阪福島女子高校出身）のペアが、一般女



左から上山さん、工藤くん、大宅くん

子三段以上の部で優勝。松井さんは三年連続優勝という快挙を達成しました。上山さんは高校時代に同大会で松井さんの演舞を見ており「正確で丁寧な技が印象に残っていた」そうで、いわば憧れのひとと組んでの優勝となりました。「松井さんの連覇がかかっているの、いろいろな方の指導を忘れずに、正確な演技を心がけました」と言います。松井さんに続いて上山さんも、そして工藤くん、大宅くんも連覇を目指して練習に励んでいます。

剣道部

「北海道学生剣道優勝大会」で 十一年ぶりの優勝をつかむ



11年ぶりに全道大会で優勝を獲得した剣道部



優勝の原動力となった栄花主将（右）と鈴木副主将（左）

昨年九月に行われた「北海道学生剣道優勝大会」団体戦において、函大剣道部が十一年ぶりの優勝を果たしました。この大会は道内二十二大学が出場し、七人一組のトーナメント方式で行われます。

今回十一年ぶりの優勝といっても、五年連続で決勝戦に進出し実力的には道内

大学一と言われている函大剣道部。ついに実力どおり優勝を手にすることができました。

現在主将の栄花友彦くん（四年・北海道出身）と副主将の鈴木雄大くん（四年・山形県坂田商業高校出身）にとっては、一年生の時から毎年決勝戦で敗れ、三年かけて念願の優勝を果たしたことになります。この優勝をひたして、十月に大阪で行われた全日本大会に出場しましたが、残念ながら一回戦敗退となってしまいました。

今年の目標として、栄花くんは「団体はもちろん二連覇。そして全国大会では初のベスト8を目指したい」。鈴木くんは「全国でも勝てるチーム作りを。そのために、素振りを徹底して個人のレベルを上げていきたい」と語っています。また、現在の三年生以下にも実力者が多数揃い、「後輩たちにはこれまで以上に期待できる」と言います。

これからは十一年ぶりと言わず、十一年連続の優勝、そして全国ベスト8を目指してほしいものです。

野球部

春季リーグ二位躍進 原動力のエース山隈茂樹くん

北海道六大学リーグで長く低迷していた函大野球部が、昨年秋季リーグで四位、そして今年の春季リーグではわずか一勝差の二位と躍進しています。

その原動力となったのがエースの山隈茂樹くん（四年・熊本県九州学院高校出身）。昨年の秋季リーグではチーム四勝のうち三勝をあげて完全復活。春季リーグでもチーム六勝のうち四勝を上げる活躍。個人としては、秋季・春季連続で北海道六大学リーグ優秀投手に選ばれました。山隈くんは「チーム力が上



エースの山隈くん

がったので、今までの自分が抑えなきゃという気持ちが抜け、チームで勝てればという気持ちになったのが好結果につながった」と言います。この調子を維持し、「社会人でも実業団チームでプレーしたい」と希望を持っています。また野手では、重村一誠（三年）くんが秋季リーグで首位打者を獲得するなど活躍。さらに春季リーグベストナインに、山隈くん（投手）、重村くん（二塁手）、小堀良太くん（遊撃手・三年）、松本一八くん（指名打者・一年）の四人が選ばれました。

中国・南開大学浜海学院と姉妹提携 海外の姉妹校が九校に

函大では中国南開大学と二〇〇一年から姉妹校提携を結んでいますが、同大系列校の浜海学院と今年三月に提携を結びました。調印式は南開大学浜海学院で行われ、小笠原学長が赴きました。

これで、函大の海外姉妹校は九校に増え、アメリカ（ハワイ）一校、オーストラリア二校、イギリス三校、中国二校、韓国一校となりました。



小笠原学長が中国に赴き、調印式を行った。

その結果、来年四月から原則半年間、両校一名ずつの教員を相互派遣することと合意。本格的交流がスタートすることになりました。

また、経済発展が著しい中国を直接見ることで国際的な広い視野を持つことができる、今後は学生の交換留学なども検討していく予定です。

函大の聴講生として八年間 三浦由利子さん英検準一級合格

三浦由利子さんは現在四十五歳。専業主婦の傍ら、聴講生として「商業英語」を八年間受講し、昨年十二月に英検準一級に合格。そして今年の春、夢だった旅行添乗員にもなることができました。

最初は道内旅行の添乗ですが、「外国人観光客のご案内に英語が役立ちますし、近いうちに海外旅行の添乗もできそう」と喜びを語っています。

三浦さんは育児が一段落したときに、もう一度好きな英語を勉強しようと函大の聴講生に。努力目標を英検に設定してまず二級を取得。準一級は五度目の挑戦でクリアしました。「商業英語では、英検・TOEIC受験に直結する指導もしてくれたいへん役立ちました。そして何より、普通の学生と同じように扱っていただけなのが嬉しかったです。十数年ぶりに、宿題をする生活を送った」



「商業英語」を受講する三浦さん

生涯学習の場としても、地域に貢献することを目指しています。

函大で初のインターンシップ 十五社に二十七名が就業体験

学生が実際の企業で就業体験をするインターンシップを、函大では昨年初めて夏期休暇中に実施しました。地元企業を中心に行政

機関を含め、十五社に二十七名が就業体験をしました。就職部では「早い時期に就労意識を高め、就職活動

クリスマスツリーコンテスト 女子学生グループが参加

函館の冬を代表するイベント「函館クリスマス・フアンタジー」で行われる、クリスマスツリーコンテストに函大の学生グループが参加しました。このコンテストは、市民が飾りつけたツリーで会場を飾り、あわせて市民の投票によってその出来栄を競うものです。

函大から参加したのは、日野隆生助教授（マーケティング論）の呼びかけに集まった十人の女子学生で、チーム名は「函館大学女子クリファン」。急な参加で



手づくりのオーナメントで飾りつけられたツリー。

十分な準備期間を持てませんでした。手作りのオーナメントで飾りつけました。作品は、函館出身GLAYの曲にちなんで「スペシャル・サンクス・ホワイ・ト・ロード」と名付けました。投票では九十八票を集め、初参加ながら五位となりました。「手作り感が評価されたでしょう。学生の情熱が表れていました」と日野先生。

参加したメンバーは「九十八人も投票してくれたのが嬉しい」、「今年もしっかり準備して、函大をアピ



函館大学女子クリファン®のメンバーと日野先生。

ルしたい」、「三位以上を目指す」など、いまから参加意欲満々です。

への弾みにしてほしいというの狙いです。アルバイトとは違った体験で、社会人としての意識が芽生えたのではないのでしょうか（大山就職課長）と効果を語っています。

入学時からマスコミ志望だった小林省悟くん（四年・南茅部高校出身）は、函館新聞社でインターンシップを体験しました。「希望のスポーツ担当記者につ



インターンシップに参加した小林くん。



河村前学長は、昭和40年に函館大学創立後、42年4月に着任。53年に教授となり、平成元年に第6代学長に就任。14年3月まで13年間学長を務め、16年3月で退官。函大の誕生から、基盤づくり、発展に大きな足跡を残されました。

去る五月、河村博旨前学長に、名誉教授の称号が授与されました。

報 恩 感 謝



——先生は、テレビ局ではどんなお仕事をしてたんですか？

——先生は、テレビ局ではどんなお仕事をしてたんですか？

物事を進めるときには
自分なりのシナリオを描こう

二〇〇一年度から函大特別講師を務める荻野慶人先生は、元讀賣テレビ取締役で数多くのテレビドラマを手がけてきました。大学では全国的にも珍しい『テレビドラマ制作論』、その内容をうかがってみました。

荻野 ● 僕は最初は、映画がスタートなんです。宝塚撮影所に入って監督をしていました。それからテレビの時代になり讀賣テレビに移ったのですが、四十二年間のうち二十年はドラマのディレクターでした。

荻野 ● 映画は一話完結が基本です。でもテレビドラマは、いろいろな面白さがある。宝塚撮影所に入って監督をしていました。それからテレビの時代になり讀賣テレビに移ったのですが、四十二年間のうち二十年はドラマのディレクターでした。

荻野 ● そのとおりです。ドラマは、いわゆる連続ドラマなら毎日または毎週続きます。その一話ごとに視聴者から反響が寄せられる。これは映画にない面白さです。視聴者の意見によって、ストーリー展開を変えていくことも、実際にあることなんです。

荻野 ● 授業は隔週ごとに二コマ(九〇分×二)です。年間を通じて、さまざまな映像を取り上げ、映画やドラマ、歌舞伎からアニメまで準備して学生に見せています。また映画やドラマについても、フィクションとドキュメンタリーの違いもあります。ここでは、さまざまな映像の歴史やスタイルを見ながら、取り上げ方を伝えています。



荻野 ● サクセスストーリーのシナリオを描こう。

荻野 ● せっかくだから、学生たちにシナリオを書かせ、実際の映像を作らせてみたいですね。十分間ぐらいの短いものでいいので、例えば函館大学のプロモーション・ビデオをつくる、というのも面白そうですね。

でももらえれば、プレゼンテーションの技術にも役立つと思います。

平成十六年度の公開講座

全国の高校生に伝えたい。
なぜ学ぶか、生きること、読書とは



公開講座実施委員会 前委員長 教授 田部井 英夫

地域における学術・情報の公開を基本理念として、本学はこれまで様々な講座を企画・開催してまいりました。昨年度は小樽山 博氏を本学にお迎えした『文化講演会』からスタートしました。演題は「ひとりでは生きられない」でした。「なぜ学ぶか、生きること、読書とは」、全国の高校生に伝えたいという講師の情熱が会場の高校生を釘付けにしました。

イトルは「函館の人と歴史」と題して、須藤隆仙氏、桜井健治氏、それに本学の井上能孝先生と小林裕幸先生に講演していただきました。地域に根ざし、「知」の発信の場を目指してありますので、今後とも今まで以上に本学の公開講座事業にご協力とご支援を賜りたく存じます。



公開講座実施委員会 新委員長 教授 今井 敏博

今年度の教養講座は、本学専任教員による専門分野を中心とした内容を予定しております。皆様の参加を期待しています。

平成16年度 学校法人野又学園決算書

資金収支計算書 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) (単位:千円)

資金収入の部		資金支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	2,469,078	人件費支出	2,131,890
手数料収入	42,073	教育研究経費支出	873,391
寄付金収入	4,344	管理経費支出	317,653
補助金収入	913,611	借入金等利息支出	33,389
資産運用収入	16,551	借入金等返済支出	227,335
事業収入	104,624	施設関係支出	124,406
雑収入	163,744	設備関係支出	81,700
借入金等収入	1,120	資産運用支出	182,372
前受金収入	525,704	その他の支出	332,001
その他の収入	539,368	資金支出調整勘定	△223,518
資金収入調整勘定	△731,842	次年度繰越支払資金	372,367
前年度繰越支払資金	404,611		
資金収入の部合計	4,452,986	資金支出の部合計	4,452,986

消費収支計算書 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) (単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒納入金	2,469,078	人件費	2,154,975
手数料	42,073	(内退職給付引当金繰入額)	(64,264)
寄付金	4,344	教育研究用経費	1,130,865
補助金	913,611	(内減価償却額)	(257,474)
資産運用収入	16,551	管理経費	382,066
事業収入	104,624	(内減価償却額)	(64,413)
雑収入	163,744	借入金等利息	33,389
資産売却差額	5,683	徴収不能額	9,465
帰属収入合計	3,719,708	資産処分差額	1,774
基本金組入額合計	△349,862		
消費収入の部合計	3,369,846	消費支出の部合計	3,712,534
		当年度消費支出超過額	342,688
		前年度繰越消費収入超過額	336,157
		翌年度繰越消費支出超過額	6,531

貸借対照表 (平成17年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	17,490,721	固定負債	1,443,380
有形固定資産	(11,879,249)	流動負債	891,547
その他の固定資産	(5,611,472)	負債の部合計	2,334,927
流動資産	630,462	基本金の部	
		科目	金額
		基本金	15,792,787
		基本金の部合計	15,792,787
		消費収支差額の部	
		科目	金額
		翌年度繰越消費支出超過額	6,531
		消費収支差額の部合計	△6,531
資産の部合計	18,121,183	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	18,121,183

平成17年度公開講座の計画

- ①文化講演会
日時:平成17年6月21日(火)
16:30~17:30
会場:本学
講師:小樽山 博氏
演題:「何のために学ぶか」
対象:高校生及び一般市民



- ②英語検定受験対策講座
○第1回「準1級(2級)への挑戦」
日時:平成17年6月4日(土)
9:00~12:10 模擬面接13:00~
○第2回「2級(準2級)への挑戦」
日時:平成17年10月8日(土)
9:00~12:10 模擬面接13:00~
講師:いずれも本学専任教員
受講料:高校生500円、大学生・一般1,000円 会場:本学



- ③教養講座 ※開講はしますが、テーマ、日程は未定。